

# 小松じんぶん通信

第7号 令和7年3月 発行  
石川県立小松高等学校 NSH担当

## 普通科課題研究(文系・理系)ポスター発表会が開催されました!

1月15日(水)本校体育館にて、2年普通科の生徒による「課題研究ポスター発表会」が行われ、自分たちが設定したテーマに関して1年間の研究成果を発表しました

大学や企業から15名の講師の先生方と金沢大学の学生4名をお招きし、専門的な視点から貴重なアドバイスをいただきました。先生方は、生徒一人ひとりの発表に耳を傾け、研究の工夫や今後の発展可能性について具体的な助言をしてくださいました。

また、発表を聞く側の生徒たちも熱心に質問をし、新しい視点での意見を述べていて、発表会は生徒間の交流の場としても大きな意味を持つものとなりました。

### ●発表会の様子



### ●令和6年度Kゼミ研究テーマ一覧

A班	日本人の行うお祭りにアニミズムはあるのか
B班	ルッキズムを完全になくすにはどうしたらよいか
C班	ラップにおける韻の効果と必要性。
D班	百人一首で読まれる恋歌の恋のジャンル分け
E班	推理小説を作家別に比べる
F班	「日本のまちおこしの成功例を 基とした能登の特産品のマーケティング」
G班	新幹線延伸から考える 加賀市への観光産業についての提言
H班	日本に最適な通貨は何か?
I班	フィリピンの暴力を使用したドゥテルテ政権
J班	ディズニー映画における ヴィランのあり方の変遷について
K班	日本語特有の表現を 英語でわかりやすく伝えるには
L班	世界幸福度ランキングでの日本の低迷理由 —近年トップのフィンランドとの違い
M班	日本の大学と世界の大学
N班	短距離走は靴を履いて走るよりも 裸足で走るほうが速いのか?
O班	スポーツと衣服
P班	プロと同様のデータ分析で チーム力は向上するのか
Q班	高校生における制服の必要性について
R班	色はおいしさにどのように影響を与えるのか ～青色に視点を当てて～
S班	江戸時代の長屋から見る これからのシェアハウスのあり方

※Kゼミ:普通科文系コース課題研究の総称

# 理数科「課題探究Ⅱ」・人文科学コース「人文科学課題研究Ⅰ」

## ポスター発表会が開催されました！！

1月17日(金)5、6限目に理数科「課題探究Ⅱ」と人文科学コースの「人文科学課題研究Ⅰ」の合同ポスター発表会が開催され、理数科と人文科学コース2年生が1年間の研究の集大成となる発表を行いました。

年間を通してアドバイスをくださった「こまつ研究サポートプログラム」メンバーの先生方や大学院生・大学生をお招きました。

今年度初めて理数科と人文科学コース合同で開催しました。理数科と人文科学コースで研究領域は異なるものの興味・関心をもって質問する姿がみられました。また、6限目は理数科1年生を対象に発表会が続きました。参観した理数科1年生は、先輩の発表に真剣に耳を傾け、質問をしようと頑張っていました。

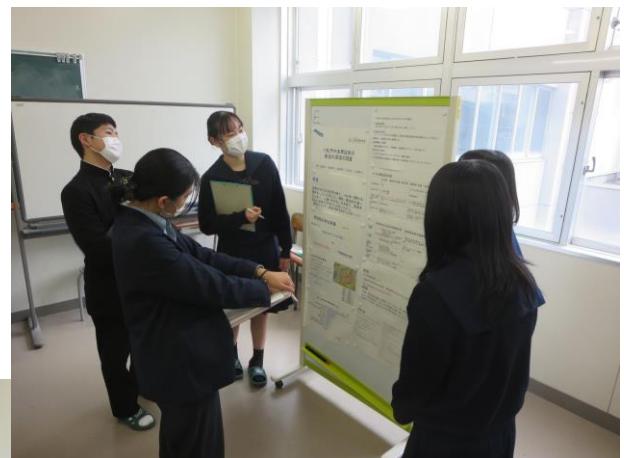
### ●発表会の様子



### ●令和6年度Jゼミ研究テーマ一覧

A班	宮沢賢治はカニに自己投影をしているのか
B班	平安貴族における「正妻」の実態
C班	何が人を外向的・内向的にさせるのか
D班	10代の大坂万博への賛成意見を増やすには
E班	小松市の商店街の活性化にむけた取り組み
F班	山月記から分析する「変身」の意義
G班	今後のアメリカにおける 日本アニメの人気の変容
H班	日本が失敗から学び、次に活かす方法 —過去の事例を基に日本の 失敗の構造を読み解く—

※Jゼミ:普通科人文科学コース課題研究の総称



～「人文科学コース」今後の予定～

普通科文系・人文科学コース2年生の生徒たちは今後も校外で開催される発表会などに参加します。